



# 年表と写真から ふりかえる80年

さまざまな出来事があった、この80年。

「I期 小田原市誕生」から

「IV期 21世紀の小田原市～未来にむけて～」まで、  
小田原市の歴史を年表と写真からふりかえります。



今回の展示では、小田原デジタルアーカイブ、広報広聴課・市立中央図書館所蔵の写真を使用しています。



## I期 「小田原市」誕生

1940(昭和15)年～1953(昭和28)年

- 1940(昭和15)年 小田原町・足柄町・大窪村・早川村・  
酒匂村の一部が合併して小田原市となる
- 1941(昭和16)年 第1回小田原市議会議員選挙実施  
初代市長に益田信世就任  
「小田原市報」第1号発刊(1943(昭和18)年 廃刊)  
市紋章制定  
アジア・太平洋戦争始まる
- 1944(昭和19)年 市長に鈴木英雄就任
- 1945(昭和20)年 空襲により被害を受ける  
アジア・太平洋戦争終わる
- 1946(昭和21)年 市長に佐藤謙吉就任  
小田原市選挙管理委員会設置
- 1947(昭和22)年 6・3制により市立の小中学校設置  
選挙法の改正により第1回小田原市長選挙実施、佐藤謙吉当選  
学校給食開始
- 1948(昭和23)年 消防本部及び消防署設置  
自治体警察発足  
下府中村合併
- 1949(昭和24)年 市長に鈴木十郎就任  
小田原競輪事業開始、財政再建に取り組む
- 1950(昭和25)年 小田原市報再刊  
市制10周年記念事業 小田原こども文化博覧会開催、  
こども遊園地・動物園開園、中央公民館開館  
小田原市民歌発表  
桜井村合併
- 1951(昭和26)年 国民健康保険制度導入
- 1952(昭和27)年 小田原市教育委員会設置
- 1953(昭和28)年 第1回市民文化祭開催

### 人口の変遷

1940(昭和15)年  
戸数 10,749戸 人口 54,699人\*

1947(昭和22)年  
世帯数 14,510世帯 人口 68,911人

1950(昭和25)年  
世帯数 15,465世帯 人口 75,334人

※合併時点



小田原駅前通り 1940(昭和15)年頃  
小田原駅東口から見た駅前広場と電車通り



幸町付近俯瞰 1940(昭和15)年頃  
消防署火の見櫓から見た現在の市民会館前の国道1号



地元から出征した兵士の遺骨の帰還を駅前で出迎える人たち  
1935(昭和10)年頃



「小田原市報」第1号  
1941(昭和16)年  
戦況の厳しくなった  
1943(昭和18)年12月に廃刊



小田原競輪場 1949(昭和24)年  
開業当時のにぎわい



小田原子ども文化博覧会の  
記念塔  
1950(昭和25)年



小田原子ども文化博覧会の宣伝行列  
1950(昭和25)年



## II期 合併による市域の拡大

1954(昭和29)年～1975(昭和50)年

- 1954(昭和29)年 豊川村・酒匂町・国府津町・上府中村・下曾我村・片浦村合併  
小田原市警察署廃止、県警察本部に移管  
新市建設計画策定
- 1955(昭和30)年 郷土文化館、尊徳記念館開館  
城山庭球場、城山陸上競技場完成
- 1956(昭和31)年 第10回国民体育大会開会、市は軟式庭球とソフトボールの会場に  
曾我村の一部(上曾我・下大井・鬼柳・曾我大沢)が分村合併  
国道舗装工事のため市内電車廃止
- 1957(昭和32)年 自主財政再建計画策定  
森林公園(現:城山公園)内に戦没者慰霊塔建設、合同慰霊祭実施
- 1958(昭和33)年 市立病院開業
- 1959(昭和34)年 下水道10か年計画事業着手  
自主財政再建計画完了  
星崎記念館(市立図書館)完成、図書館・児童文化館として開館
- 1960(昭和35)年 市制20周年記念事業 小田原城天守閣完成  
第1回小田原お城まつり開催
- 1962(昭和37)年 小田原市新市建設計画を決定  
市民会館開館、新小田原市民歌制定
- 1963(昭和38)年 小田原漁港第1期工事完成
- 1964(昭和39)年 東海道新幹線小田原駅開業
- 1965(昭和40)年 市行政事務に電子計算機導入
- 1966(昭和41)年 第1次新住居表示制度実施(栄町・本町・浜町・南町・中町・城内)
- 1967(昭和42)年 第2次新住居表示実施(寿町・東町)  
消費者保護行政推進
- 1968(昭和43)年 小田原市魚市場開場(1972(昭和47)年に公設水産地方卸売市場と改称)  
住民登録に代わり住民基本台帳制度施行  
公共下水道終末処理場通水式
- 1969(昭和44)年 市長に中井一郎就任  
小田原厚木バイパス開通  
高田浄水場が一部完成、操業開始  
県西地域広域市町村圏協議会発足(小田原市と足柄上郡・下郡10町)  
第3次新住居表示実施(城山)  
小田原市文化団体連絡協議会発足
- 1970(昭和45)年 第1次減反政策推進  
都市計画区域変更、都市計画用途地域変更  
御幸の浜プール、西湘バイパス工事により移転、開場
- 1971(昭和46)年 橘町合併  
市制30周年記念事業 小田原城常盤木門完成  
第4次新住居表示実施(扇町)
- 1972(昭和47)年 西湘バイパス全面開通  
「緑と水の豊かな住みよい都市」を目指す総合計画の基本構想策定  
公設青果地方卸売市場開場
- 1974(昭和49)年 市役所に生活物資対策本部設置  
小田原市社会福祉センター開館  
第5次新住居表示実施(酒匂・小八幡・国府津)  
「緑を豊かにする条例」制定

### 人口の変遷

1955(昭和30)年

世帯数 22,295世帯 人口 113,099人

1960(昭和35)年

世帯数 26,162世帯 人口 124,813人

1965(昭和40)年

世帯数 33,649世帯 人口 143,377人

1970(昭和45)年

世帯数 40,169世帯 人口 156,654人

1975(昭和50)年

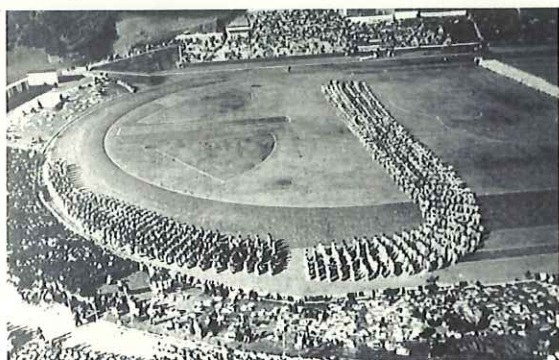
世帯数 47,253世帯 人口 173,519人



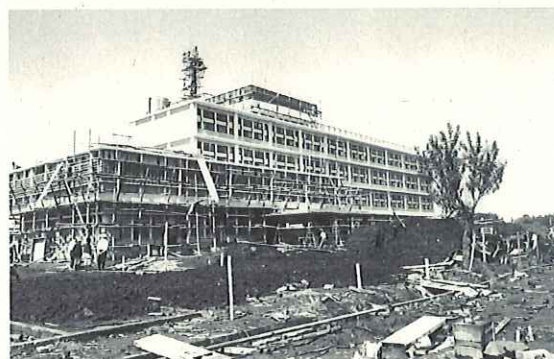
合併祝賀宣伝カー 1954(昭和29)年



合併祝賀宣伝カーに群がる人たち 1954(昭和29)年 国府津町



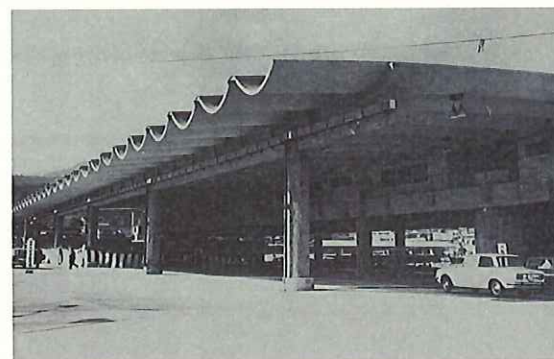
城山陸上競技場 1955(昭和30)年 国民体育大会と同時に  
行われたマスメゲーム大会の入場行進



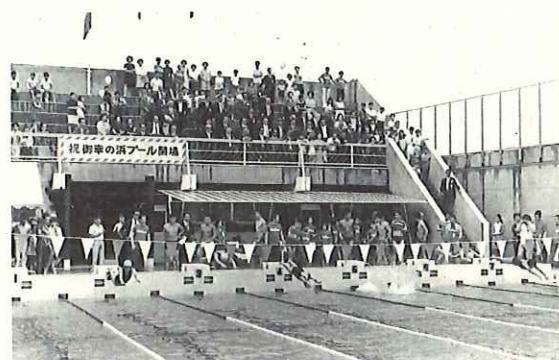
市立病院第1期建設工事の様子 1958(昭和33)年



1959(昭和34)年に完成した星崎記念館(市立図書館)



完成した小田原市魚市場 1968(昭和43)年



御幸の浜プール開場式 1970(昭和45)年



小田原市・橋町合併祝賀式 1971(昭和46)年



# III期 伸びる小田原市

## 1976(昭和51)年～1999(平成11)年

- 1976(昭和51)年 荻窪に市役所の新庁舎完成  
市民憲章制定、市の木「くろまつ」・市の花「うめ」に決定  
小田原駅東口広場と地下街アミーおだちか完成
- 1978(昭和53)年 国府津公民館開館  
飯泉取水堰「利水」開始
- 1979(昭和54)年 鴨宮駅南口広場完成  
新清掃工場完成  
印鑑登録・証明制度をカード方式に変更  
小田原スポーツ会館開館
- 1980(昭和55)年 新県西地域広域市町村圏計画策定  
夜間の急患診療制実施  
小中学校で米飯給食開始  
旧松永記念館を郷土文化館分館として開館  
高齢者生きがい事業団(現:(公社)シルバー人材センター)発足  
市制40周年記念事業 中央公民館(現:生涯学習センターけやき)完成  
栃木県今市市(現:日光市)と姉妹都市提携
- 1981(昭和56)年 小田原市史編さん事業開始  
アメリカ合衆国カリフォルニア州チュラピスタ市と海外姉妹都市提携
- 1982(昭和57)年 いこいの森開園
- 1985(昭和60)年 市長に山橋敬一郎就任  
建築確認等の認可事務が県から移譲  
住民票の発行が電算化  
第6次新住居表示実施(南鴨宮・西酒匂)
- 1986(昭和61)年 市の将来都市像「歴史と文化の香る都市(まち)」と市総合計画「おだわら21世紀プラン」発表  
防災行政用無線放送開始
- 1988(昭和63)年 尊徳記念館新築開館、保健センター開設
- 1989(平成元年) 情報公開制度開始、行政情報センター設置
- 1990(平成2年) 市制50周年・小田原合戦400年記念事業  
小田原城住吉橋復元、ときめき小田原まつり開催、石垣山一夜城歴史公園、辻村植物公園開園、  
上府中公園に小田原球場開場
- 1991(平成3年) 緑と花の展覧会開催
- 1992(平成4年) 市長に小澤良明就任  
梅の里センター、生きがいふれあいセンターいそぎ開設
- 1993(平成5年) 「小田原市平和都市宣言」制定
- 1994(平成6年) シルバー大学開校  
かもめ図書館、小田原文学館開館  
新消防本部庁舎完成
- 1995(平成7年) 県立生命の星・地球博物館開館、小田原フラワーガーデン開園  
小田原市の人口が20万人突破  
市の鳥「コアジサシ」に決定
- 1996(平成8年) 川東タウンセンターマロニエ、鴨宮ケアセンター開設
- 1997(平成9年) 小田原アリーナ、小田原テニスガーデン開設
- 1998(平成10年) 市総合計画「ビジョン21おだわら」開始  
小田原城銅門開門、歴史見聞館、白秋童謡館開館  
第53回国民体育大会でバスケットボール、ソフトテニス、ソフトボール競技の会場に
- 1999(平成11年) 第1回城下町おだわらツアーデーマーチ開催

### 人口の変遷

1980(昭和55)年	世帯数 51,809世帯	人口 177,467人
1985(昭和60)年	世帯数 56,193世帯	人口 185,941人
1990(平成2)年	世帯数 61,360世帯	人口 193,417人
1995(平成7)年	世帯数 67,916世帯	人口 200,103人



1976 (昭和51)年に  
決定した  
市の木「くろまつ」



1976 (昭和51)年に決定した  
市の花「うめ」



市役所新庁舎完成式  
1976(昭和51)年



新たに建設された清掃工場  
1979(昭和54)年



尊徳記念館新築開館  
1988(昭和63)年



緑と花の展覧会開催  
1991(平成3)年



プロ野球イースタン・リーグ公式戦 1991(平成3)年  
1990(平成2)年にオープンした小田原球場で開催された



1998(平成10)年オープンの白秋童謡館

## Ⅳ期 21世紀の小田原市～未来にむけて～



2000(平成12)年～2020(令和2)年

		人口の変遷
2000(平成12)年	市制60周年記念事業 小田原こどもの森公園わんぱくらんど開園、 全国童謡フェスティバル～白秋IN小田原～開催 全国で初めて特例市に移行	2000(平成12)年 世帯数 71,532世帯 人口 200,173人
2001(平成13)年	市の魚「メダカ」と「アジ」に決定 市民活動サポートセンター開設、松永記念館老櫓荘、 小田原宿なりわい交流館開館	2005(平成17)年 世帯数 74,291世帯 人口 198,741人
2003(平成15)年	小田原駅東西自由連絡通路「アークロード」開通	2010(平成22)年 世帯数 77,793世帯 人口 198,327人
2005(平成17)年	市総合計画「ビジョン21 おだわら」 後期計画「おだわらルネッサンス・再生と創造」開始 城北タウンセンターいずみ開設	2015(平成27)年 世帯数 79,120世帯 人口 194,086人
2006(平成18)年	「景観計画」「景観条例」施行 小田原ふるさとの原風景百選決定	
2007(平成19)年	コミュニティ放送局FMおだわら開局 地下街「アミーおだちか」営業終了 橘タウンセンターこゆるぎ開設	
2008(平成20)年	市長に加藤憲一就任	
2009(平成21)年	おだわら TRY フォーラム開催 ゾウのウメ子死亡 無尽蔵プロジェクト開始	
2010(平成22)年	片浦中学校閉校 地域別計画完成 市制70周年記念事業 小田原城紋章展「梅紋と松紋」開催、小田原デジタルアーカイブ開始	
2011(平成23)年	市総合計画「おだわら TRY プラン」開始	
2014(平成26)年	市役所本庁舎耐震改修工事開始 小田原地下街「ハルネ小田原」開業	
2015(平成27)年	小田原城天守閣大改修 おだわら市民交流センター UMECO 開設	
2016(平成28)年	東京都八王子市・埼玉県寄居町と姉妹都市盟約締結	
2019(平成31・令和元)年	市民ホール工事着工 漁港の駅TOTOCO小田原開業	
2020(令和2)年	市立図書館(星崎記念館)閉館、かもめ図書館を中央図書館と改称 市長に守屋輝彦就任 小田原駅東口図書館、おだびよ子育て支援センター開館 広域交流施設ミナカ小田原全面開業	





小田原こどもの森公園わんぱくランド開園  
2000(平成12)年



2001(平成13)年に決定した市の魚「メダカ」



2001(平成13)年に決定した市の魚「アジ」



小田原駅東西自由連絡通路「アークロード」開通  
2003(平成15)年



小田原地下街「ハルネ小田原」開業  
2014(平成26)年



おだわら市民交流センター UMECO 開設  
2015(平成27)年



市民ホール建設現場  
2019(平成31)年に工事開始



# 合併による小田原市の変遷

私たちが住んでいる小田原市。合併を繰り返して、今の姿になりました。

1940(昭和15)年12月20日に誕生した小田原市。当時の人口は5万4,699人で、面積は現在の半分ほどでした。しかし戦後、市町村でやるべき仕事が増え、小さい町村は単独で対応できなくなりました。特に、中学校の運営は大変だったため、下府中村や桜井村が小田原市と合併しました。

1953(昭和28)年には、町や村の人口に基準を定めた「町村合併促進法」ができ、日本各地で多くの市町村が合併しました。小田原市も、1954(昭和29)年から1956(昭和31)年までに2町5村と合併。工場が多くあった地域は工業、交通の拠点だった地域は商業に力を入れ、それぞれの地域の力を生かすことで、小田原市は発展していきました。

1971(昭和46)年、さらなる発展を目指し、農業が盛んな橘町と合併し、現在の小田原市の姿になりました。



合併年表

昭和15(1940)年12月	小田原町・足柄町・大窪村・早川村・酒匂村の一部(現在の山王網一色地区)が合併し、小田原市が誕生	昭和29(1954)年7月	豊川村と合併
昭和23(1948)年4月	下府中村と合併	昭和29(1954)年12月	上府中村・酒匂町・国府津町・下曾我村・片浦村と合併
昭和25(1950)年12月	桜井村と合併	昭和31(1956)年4月	曾我村の一部(上曾我・下大井・鬼柳・曾我大沢)と合併
		昭和46(1971)年4月	橘町と合併

『広報小田原』2017(平成29)年10月号 No.1182を基に作成